

一 次の各問に答えなさい。

問一 次の①～⑩の――線部のカタカナを漢字で書き、――線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

- ① 念入りに確認した後、大切な文書に**シヨメイ**する。
- ② **チンタイ**アパートでの一人暮らしを始める。
- ③ **コウブツ**資源にばかり頼っていてはいけない。
- ④ 彼女は**オンコウ**な性格でみんなから好かれている。
- ⑤ 誰にも**マネ**のできない素晴らしい演技をする。
- ⑥ これまでの生活を**アラタ**めてふりかえる。
- ⑦ 自分の失敗を**イサギヨク**認めるのは立派なことだ。
- ⑧ **オサ**めた税金の使い道をしっかりと**監視**する。
- ⑨ **提灯**に彩られた美しい光景に息をのむ。
- ⑩ 自由研究で**解毒**作用のある食べ物について調べる。

問二 次の①～⑤のことわざ・慣用句の空らんにはまる語をそれぞれア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ① 「――」あれば水心
ア 親心 イ 里心 ウ 魚心 エ 静心
- ② 待てば「――」の日和あり
ア 海路 イ 天下 ウ 散歩 エ 希望
- ③ 「――」は熱いうちに打て
ア 釘くぎ イ 鐘かね ウ 銀 エ 鉄
- ④ 「――」を尽くして天命を待つ
ア 人事 イ 責務 ウ 天意 エ 地力
- ⑤ 「――」の背比べ
ア たけのこ イ どんぐり ウ たんぼぼ エ さぼてん

二 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

日本で一般的な住所表示は「住む人」を想定している。その人がどうい土地に住んでいるか、所有しているかがそこでは問題とされ、つまり「資産価値」というものと直結する。「町」という字が古くから資産の象徴とされた「田」を含むところにも①それは表れている。対して、京都のような（そして欧米の都市では一般的な）「*1道を指定する住所」は、「歩く人」のためにある。両側に軒が並んだ様子を表す「街」という文字がふさわしい。

ある資産価値を保証された「町」に住んでいる、土地を所有しているという状態は永続することがむずかしい。所有者が変わったり、建物が建て変わったりして、「町」の様子は短いスパンでどんどん*2変遷していく。永続させるのが難しいからこそ、資産価値のある土地に住み、所有するというところに、人は情熱を掻き立てられ、それがその土地の資産価値をまた押し上げる原動力になる。

また、*3ICTの時代になって、*4抽象的な住所と番地をデータベース化する情熱が、個々の土地の具体的なあり方や個性を*5捨象していくことに*6拍車をかける。

もちろん京都においても、土地の所有権は同じようなスピードで変遷しているにちがいない。「A」「道」はなかなか変わらないだろう。その両側に建つ建物や風景はめまぐるしく変わっても、その「道」が存在すること、そこを歩く人々の様子は、大げさになら平安京の時代からそれほど変わらないのではないか。せいぜい、歩く人の数が増え、着ている服が変わり、さらに外国人が増え、そして牛車や馬が「a」に変わったくらいのことではないだろうか。

よく京都の人が「この前の戦争」というと第二次世界大戦のことではなく*6応仁の乱のことをさす、などといわれるけれども、②歴史家のみならず*7市井の人もそのようなスタイルの大きな時間感覚をもっているとすれば、その理由はやはり、京都が「歩く人のための街」だからではないだろうか。

平安京の昔に造成された道がいまも存在し、人々は変わらず往来をつづける。「歩く」という行為をとおして、人は古の人々の生を追体験する。古文書や古い建物を見て在りし日の様子を想像するのはちがって、「同じ道を同じように歩く」ことをつうじて、人はその時代を生きたことが可能になるのではないか。京都の人がみずから経験することのできない古の時代を実感をもって語ることができ、それが説得力をもつのは、「歩く」ことよって歴史を実体験することができからなのだと思うにはいられない。

「B」それは、道が、「土地||町」という資産価値、政治的価値を有し、所有権の生ずるもののあいだに存在するアジュール（聖域、自由領域）だということとも関連する。このお屋敷は〇〇様のもの、あの土地は××様の領地ということはあったとしても、そのあいだを縫って走る道は、天皇家の人々も公家も武士も町人も農民も、*8貴賤や権力に関係なく通行する「無縁の場」である。土地の持ち主は移ろいゆくが、道は時代を超えて、「われわれの場所」でありつづけるのだ。

道と土地の違いは、音楽でいえば③タブラチユアと④*9五線譜の違いに似ている。タブ

ラチュアとは楽器固有の奏法そうほうを数字や文字で表した楽譜がくふ。ギターでは「タブ譜」などと略称りやくしやうすることが多いが、五線ならぬ六本の横線をギターの弦げんに見立て、押さえる*10フレットを数字で示したり、奏法を記号で示したりする。その他、ドラムも各線を個々の太鼓たいこに割り当てて奏法を示すし、沖縄の*11三線さんしんには「工工四ククシイ」とよばれるタブラチュアがある。(あ)

タブラチュアは、演奏者の身体的行為を記号化したものだ。記譜きふした個々の演奏家の身体からだの記憶がそこに刻印くくいんされ、その時代特有の様式や演奏習慣が色濃いろこく反映する。それに対して五線譜は、もっと抽象的に音楽の構造を示す。原理的には、どんな楽器で演奏しても「同じ音楽」になるし、古い時代の演奏習慣を前提とした音楽であっても、五線譜に書かれてさえいれば再現が可能になる。*12神の視点で定められた「地名+番地」を抛りどころに、その土地を知らない人でも*13 Google マップを見れば目的地にたどり着けるように。(い)

「C」、五線譜には音楽から歴史を捨象し、*14 普遍ふへん化する力がある。それゆえに、「作曲家」という存在が生まれ、その音楽が時代を超えて演奏されつづけることが可能になったのは、本書の第06篇へんで述べるとおりだ。(う)

逆にいえば、タブラチュアを演奏するとき、演奏家はその音楽が記譜された「時代」を追体験する、といえる。その楽譜を書いた個人が、みずから楽器を演奏する過程を、現代の演奏家はみずからの身体を同じように動かすことのできる。(え)

いや、五線譜でそれがまったくできないわけではない。古い時代の作曲家の自筆譜を見れば、それが現代と同じような五線譜で書かれていたとしても、その筆跡ひっせきから、作曲家がみずからの身体からその音楽を紡つむぎ出した様子を想像することができる。すぐれた古楽こがく演奏家の演奏が、ときに学術的な研究のたしかさを飛び超えて説得力をもつのは、彼らが五線譜の向こうに、作曲家の「行為」を驚くほどの精度せいどで読み取りなぞること、その音楽を生きることができるからだろう。(お)

演奏に説得力があるというのは、いつてみればその音楽が進んでいく道すじを、聴く者が迷わずにたどることができる、ということでもある。すぐれた演奏には、聴き手の手を取って道をもとに歩き、その音楽のたたえる記憶を追体験させ、ともに生きさせてくれる力がある。(か)

いまの時代、どこへ行くにもスマホの Google マップに目を落とし、*15 GPS の丸い点で示される自分の位置を確認しながら、目的地にたどり着くまで顔を上げないでいるほうが効率的だったりもする。でも、せめて京都にいたときは、うる覚えの*16 通り名の歌を唱えながら、古の人々と足並みをそろえて歩きたい。「道」というアジールがこの街の本質であり、歩くことがこの街を生きることなのだから。

(木村元『音楽が本になるとき』より)

〔注〕*1 道を指定する住所 — 京都の住所は、道の名前を組み合わせさせて表される。

*2 変遷 — 移り変わること。

*3 ICT — 通信技術を活用したコミュニケーション。

*4 抽象的 — 個別のものから離れて一般的な事柄ことばに着目するさま。

- *5 捨象―中心的でない性質を捨て去ること。
- *6 応仁の乱―京都で一四六七年から十一年にわたって続いた内乱。
- *7 市井の人―庶民。しよみん
- *8 貴賤―身分の高い人と低い人。
- *9 五線譜―五本一組の線を用いた現在一般的に使われる楽譜。
- *10 フレット―ギターに打ち込まれた棒状ぼうじょうの金属。弦をフレットに押し当てることで音程が作られる。
- *11 三線―三本の弦をもつ弦楽器。
- *12 神の視点―筆者は「地名＋番地」で表現される住所を、神が上空から見下ろすイメージでとらえている。
- *13 Google マップ―インターネット上の地図。目的地を指定すると行先を案内してくれる。
- *14 普遍化―全てに共通するきょうつうようにすること。
- *15 GPS―人工衛星から発せられた電波を受信して現在位置を特定するシステム。
- *16 通り名の歌―京都に数多くある道の名前を覚えるための歌。

問一 線部X「拍車をかける」・Y「うろ覚え」の本文中での意味として最も適切なものを、次のア～エからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- X ア 物事の進み具合を遅らせる
- イ 物事の成り行きを一段と進める
- ウ 物事の進む方向性を変化させる
- エ 物事の成り立ちを明らかにする
- Y ア 覚えたばかりだということ
- イ はっきりと覚えていること
- ウ 間違えたまま覚えていること
- エ ぼんやりと覚えていること

問二 空らん「A」・「C」に当てはまる語として最も適切なものを、次のア～エからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。ただし、同じ選択肢せんたくしを繰り返し使うことはしない。

- ア そして
- イ なぜなら
- ウ しかし
- エ やはり
- オ つまり
- カ したがって

問三 空らん「a」に当てはまる語を自分で考えて三字以内で答えなさい。

問四 本文からは次の一文が抜け落ちている。文章中の(あ)～(か)のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で答えなさい。

そのことにより、彼はそのタブラチュアが書かれた時代を生きる。

問五 —— 線部①「それ」の指し示す内容を二〇字以内で答えなさい。

問六 —— 線部②「歴史家のみならず市井の人もそのようなスケールの大きな時間感覚をもっている」とあるが、それはどうしてか。五〇字以内で答えなさい。

問七 —— 線部③「タブラチュア」の説明として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 記譜した個々の演奏家の身体的行為を記号化したものであり、それに従って演奏することで現代の演奏家も記譜された時代を追体験することができる。
- イ 記譜した時代特有の様式や演奏習慣が反映されたものであり、それに従って演奏することでどのような楽器を使っても過去の時代を身体的に体験できる。
- ウ 記譜した演奏家みずからが楽器を演奏する過程を記したものであり、それを研究することで現代の演奏家は過去の演奏家が音楽を紡ぐ様子を理解できる。
- エ 記譜した演奏家の身体の記憶を刻みこんだものであり、それに記されたとおりに演奏することで神の視点に立って音楽を考えることができる。

問八 —— 線部④「五線譜」の説明として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 歴史的な要素を捨て去って普遍化したものであり、それを参考にして楽器を演奏することで、現代の演奏家でも身体的に当時の様子を表現できる。
- イ 歴史を捨象して抽象的に音楽の構造を示したものであり、それをもとに時代を超えて演奏され続けることで、音楽は普遍的な価値を手に入れることができる。
- ウ 時代性を取り除いて音楽の構造を示したものであり、それに従って演奏すること、使う楽器や時代にかかわらず同じ音楽を再現できる。
- エ 時代特有の様式や演奏習慣をふまえて再現可能な音楽の形を示したものであり、それに従って演奏することで、聴き手に音楽の記憶を追体験させることができる。

問九 次の1～4の記述について、本文の内容と照らし合わせて適切な場合は「ア」、不適切な場合は「イ」をそれぞれ答えなさい。

- 1 京都のまちの本質は道にあるため、「町」より「街」の文字の方がふさわしい。
- 2 土地の所有者は変わりゆくが、道の所有者はいつの時代でも同じである。
- 3 すぐれた古楽演奏家は五線譜をもとに演奏しても過去の時代を追体験できる。
- 4 聴き手を導く説得力ある演奏は、道筋を示す Google マップと似たところがある。

三 次の文章は、「私」（女性）が「あなた」（友人の男性）に書いた手紙の一節である。

以下を読んで、後の各問に答えなさい。

これからずっと目をつぶったまま生きていく決意をしたことを告げた後、「あなた」が、かつて自作の切手を貼って「私」に手紙を送ったことをふりかえる。その後、「私」を訪ねたオランダで生活する翻訳家の友人が紹介した、とあるオランダ人作家の小説の話にうつる。その作家は一字しか字を知らない象が手紙を書くシーンを描くが、その場面が日本語に訳される際「くくくくく……」と訳されたことを受け、「私」は自分だったらどのような「一文字の手紙」を書くか、思いを巡らせる。

「んんんんんんんんんんんん……」

相づちを打っているようでもあれば、小首をかしげ、優しく問い直しているようでもある。考えあぐね、答えを保留し、時間を稼いでいる。すべてを肯定し、許している……。さまざまな読み方ができるでしょう。しかしこの手紙に記されているのは、ここに言葉はない、ということですよ。*1喉の奥にも舌の中にもリボンの結び目にも、どんな言葉も隠れてはいません。いくら便箋一面を「ん」で埋め尽くそうとも、ただ無言が深まってゆくばかりです。私があるに届けようとしているのは、つまり①そういう手紙です。

まぶたを閉じている私に、それでも当然のように友人は新訳の小説を一冊置いて、アムステルダムへ帰ってゆきました。三十年もあちらに暮らしている彼女ですが、今でも、しばらくこちらに戻っていると、みるみるオランダ語が下手になってゆくそうです。スーツケースに荷物を詰め、アムステルダムを発つ準備をはじめただけで早くも、オランダ語が揺らいでいるのが分かる、と彼女は冗談めかして言いました。

三十年かけ、努力して積み上げた言語より、一言も喋れない赤ん坊の時、訳も分からず勝手に耳に入ってきた母語の方が、ずっと強いという証拠でしょうか。少しでも油断すると、②無敵の赤ん坊が積み木の塔を破壊しにやってきました。口元には太々しい笑みが浮かび、瞳はやる気満々に輝いています。「アー、ウー、アー、ウー」うなりながら、よだれや離乳食や汗でべとついた手を情け容赦なく振り回す赤ん坊の前では、ぐらぐらする積み木などひとたまりもありません。何のためらいもなく崩れてしまします。

母語とオランダ語、二つの間に架かる、積み木のように華奢で危うげな橋を、一步一步慎重に、勇気を持って行き来している彼女に、私は心から尊敬の念を抱きます。異なる言語を往復するのは、どんなに広大な海を渡るよりも心細い旅でしょうから。

母語に、母、という字が使われているのは、この心細さを少しでも和らげるためかもしれません。父、でもどうも収まりがよくない気がします。積み木を崩す赤ん坊を抱き上げ、揺すってなだめるのは、やはり母の腕です。

一字しか字を知らない象の手紙について、私がこうして思いを巡らせることができるのは、勇気ある「A」のおかげです。そう言えば、人間の赤ん坊がおしゃぶりをするときに、子象も鼻をしゃぶるのを知っていますか？ 考えてみれば、指であれ鼻であれ、自分の体の一部を口に入れないではいられない、というのは面白い習性です。人間は無意味なことをやる生きものですから、美味しいはずもない指をしゃぶるからと言って別に不

思議ではありませんが、摂理に従って生きる「B」野生動物までもが、同じ仕草をするというのは、ちよつと意外です。

あれは、自分で自分をこの世界に留めておくための抵抗なのでしようか。自分がどこか知らない遠くにふわりと吸い込まれてしまわないよう、指と鼻を一生懸命に引つ張っている。そう考えれば、人間の指と象の鼻は、引つ張るのにならなくてつけの出つ張りと言えます。サバンの水辺で休憩する、象の群れがいます。乾季、水を求めて歩き続けた彼らは極限まで疲れています。何日かぶりにありつけた水を味わい、ひび割れた皮膚に泥を掛けて潤し、「C」ために耳をはためかせます。そうしながらも大人たちは、貴重な水辺に集まって来る他の動物たちへの警戒は忘れません。真つ黒い目には常に緊張が漲っています。

大人たちの脚の間に守られ、子象が一頭見え隠れしています。最初に水を飲ませてもらって、ようやく心地ついたところです。途中、砂嵐に巻き込まれ、目を開けていられず、方向を見失って群れからはぐれそうになったことなど、もう忘れていきます。もし母象が咄嗟にお尻を押してくれなければ、あのまま見当違いの方へ進んで、一人ぼっちになり、今頃は肉食動物たちの餌になっていたはずです。子象は自分が目をつぶっているのに気づかなかつたのです。しっかりと目を見開いて、砂嵐の中にかすむ母の姿を追いつけているつもりでした。でも本当は、まぶたは閉じられていました。子象の瞳に映っていたのは、まぶたに透ける太陽の光が、涙に反射して舞う、架空の砂嵐でした。

しかし、いくら小さすぎて大事なことをすぐに忘れてしまう子象でも、生まれて間もないものだけに授けられる、③遠い暗闇から届く信号を受け取る力はちゃんと備えています。だからこそ、暗闇に吸い込まれないため、自分の体は今ここにあるのだという事実をかみしめるため、一生懸命鼻しやぶりをしているのです。

その時、子象の鼻から漏れる音は、

「くくくくく……」

でしようか。それとも、

「んんんんん……」

でしようか。

偶然にも、*2ドナルド・エヴァンズが死んだのもアムステルダムでした。アメリカ、ニュージャージー州に生まれた彼は、アムステルダムの友人宅で火事に遭い、三十一歳で命を落としました。(あ)

この世にはないけれどどこかにはある切手を描き続けた画家が、火事で亡くなったという事実を思い出すたび、哀切でならないのに、なぜか、その死を悼むための手立てを見失ったような、それらもエヴァンズと一緒に焼けてしまったかのような④心細さを感じます。手を合わせたり、祈りの言葉をつぶやいたりしても、きつとエヴァンズには届かないだろうという気がしてしまうのです。(い)

彼は自分の死に気づいているのでしようか。三十一歳の若さで、不意に訪れた死の前に、何が起ったか分からないままでも、不思議ではありません。(う)

⑤エヴァンズにはもつと指しやぶりが必要だったのではないか。私は馬鹿げたことを考えています。歳を取ってから授かった息子を大事に思うあまり、生まれて一か月の間、母

問三 ——— 線部①「そういう手紙」の説明として最も適切なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 一見単純な内容に見えるものの、見方によっては様々な解釈を可能にする、相手を思いやり自由にするような手紙。

イ 空しく響くばかりの言葉を使わず、何も書いていない白紙の便箋を送ることで、二人だけの思い出を呼び覚ますような手紙。

ウ 思いの丈が込められているように見えても、実はそこに述べられた一切を否定し、ただ二人の間に果てしない沈黙をもたらすような手紙。

エ 様々な読み方ができるように思われるが、実際には相手に対する想いが無いことを表すことで、拒絶のメッセージを伝えるような手紙。

問四 ——— 線部②「無敵の赤ん坊が積み木の塔を破壊しにやって来ます」とはどういうことか。五〇字以内で答えなさい。

問五 ——— 線部③「遠い暗闇から届く信号を受け取る力」の説明として最も適切なものを、次の選択肢ア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 暗闇のようにぼんやりした前世での出来事を感じ取る力。

イ どれほどの孤独でも癒してくれる母親の大きい愛情を信じる力。

ウ 少しの油断が悲劇を生んでしまうという理不尽を認める力。

エ どこか知らない遠くの世界に連れ去られてしまうという危険を感じる力。

問六 ——— 線部④「心細さを感じます」とあるが、それはどうしてか。八〇字以内で答えなさい。

問七 ——— 線部⑤「エヴァンズにはもつと指しやぶりが必要だった」とあるが、「私」はどうしてこのように考えるのか。解答らんに合うように、本文中から二〇字程度で抜き出して答えなさい。

問八 もしあなたが「大切な人」に向けて、本文中の「一文字の手紙」を書くとしたら、どの**ひらがな**を選ぶか。枠内の条件に従って、あなたの考えを説明しなさい。

① 「選んだ一文字」のらんに、あなたの選んだひらがな一字を書きなさい。

② 「説明」のらんでは、次の**あいう**に触れながら、あなたの考えを一〇〇字以内で説明しなさい。ここでは、あなたの**発想力と表現力を評価**します。

あ 誰に対する手紙か。どうしてその人は、あなたにとって大切な人なのか。

い 大切な人に向けて、どのようなメッセージを伝えたいのか。

う どうしてその一文字を選んだのか。その一文字がふさわしい理由は何か。

*・原稿用紙の使い方、作文の書き方のルールに従って、一段落構成で答えること。

・「です・ます」調、「だ・である」調のどちらでもよいが、統一すること。